

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪いずみ市民生活協同組合(仮称)久米田店新築工事	階数	地上1F
建設地	大阪府岸和田市小松里町	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域、高度地区第3種	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,745 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2023年7月13日
敷地面積	4,032 m ²	作成者	東畑建築事務所
建築面積	2,165 m ²	確認日	2023年7月18日
延床面積	2,036 m ²	確認者	大谷健司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: ①参照値 100%, ②建築物の取組み 73%, ③上記+②以外の 73%, ④上記+ 73%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
法令を遵守し、前面道路からの見通しに配慮した配置計画としている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
化学物質を放散する材料等はF☆☆☆☆製品を採用し、シックハウス等建築基準法などの関係法令を遵守して計画している。	売場部分において開放感が得られるように、充分な高さの天井高としている。	敷地周辺に緑地帯を、建物前面には庇を設けるなど人々が滞留しやすい場所を設けた。又、外部も含め段差を極力なくし身障者に対しても優しい計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率な機器を採用し、熱負荷削減に努めている。	自動水栓、節水型便器を採用している。	騒音、臭いに配慮した設備機器の配置を心がけ、必要に応じて防音壁を設置している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0042

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪いずみ市民生活協同組合(仮称)久米田店新築工事						
	建設地	大阪府岸和田市小松里町						
	用途/区分	物販店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告								
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.0	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
	先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
	特に配慮した事項	省エネルギー性に加え、太陽光発電の採用による再生可能エネルギーの活用を図り、環境負荷低減に寄与する建築計画に配慮した。						